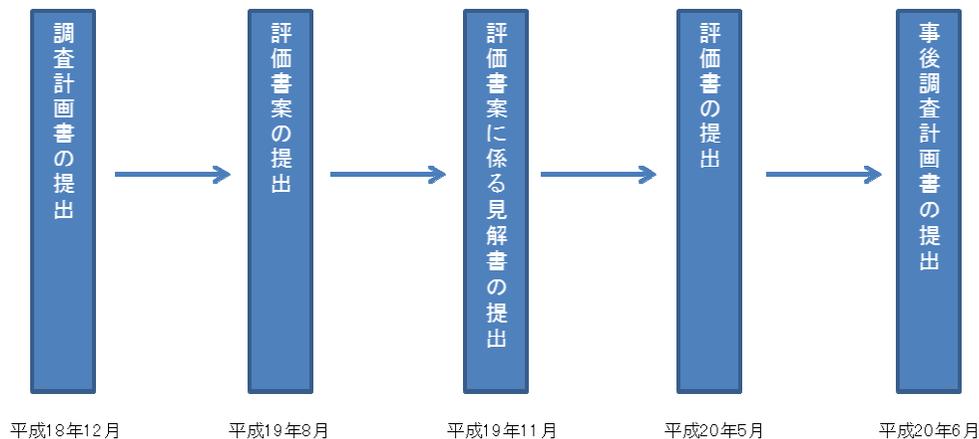


東京スカイツリータウン全景



事業の概要

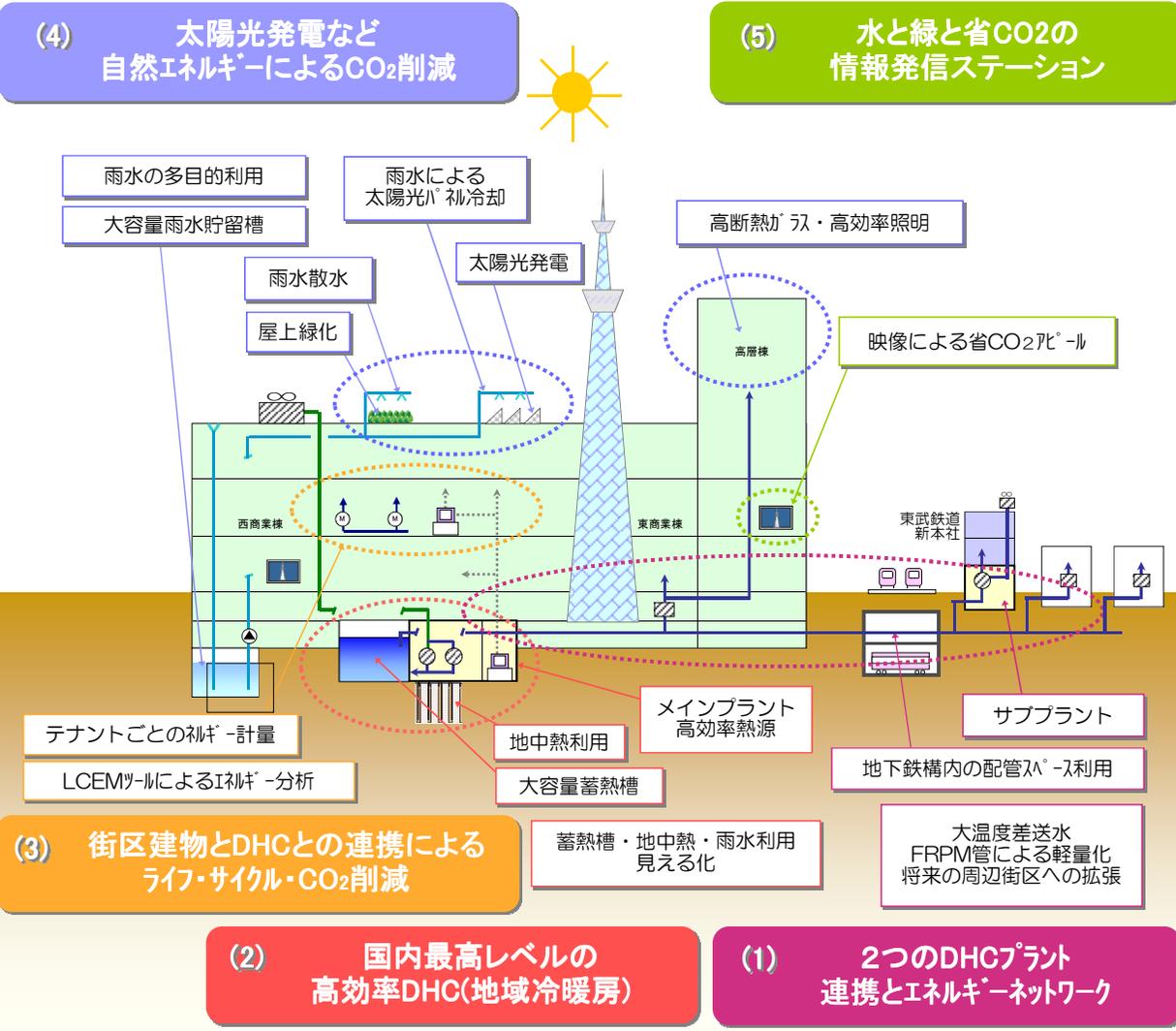
環境アセスメントの流れ



事業者	東武鉄道株式会社・東武タワースカイツリー株式会社
所在地	東京都墨田区押上一丁目
敷地面積	約36,900㎡
建築面積	約31,600㎡
延床面積	約230,000㎡
階数	地下3階-地上31階
高さ	最高高さ 634m
用途	電波塔／事務所／物販／飲食 他
駐車台数	約1,000台
緑化面積	地上部 約5,500㎡ 屋上部 約4,400㎡
竣工予定	平成24(2012)年2月
開業予定	平成24(2012)年5月

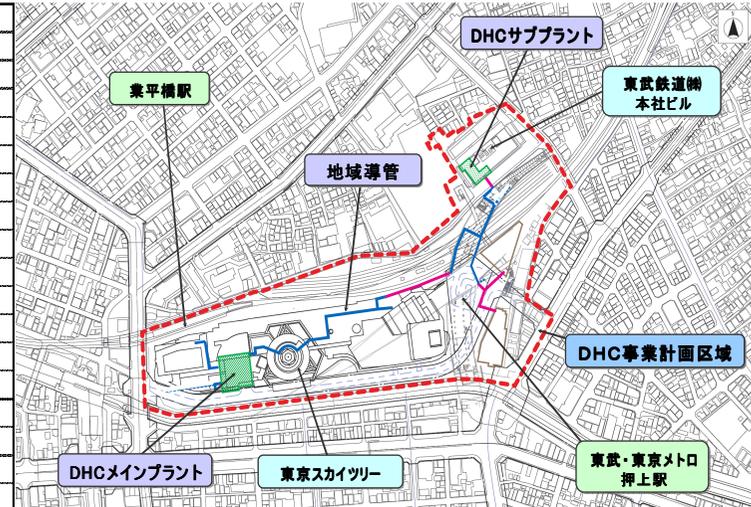


低炭素化へ向けての5つのポイント



熱供給事業者	株式会社東武エネルギーマネジメント		
供給区域面積	約102,000㎡		
熱源容量	冷熱源	4,650RT	
	温熱源	21.02GJ	
熱源設備	サブプラント	ターボ冷凍機	4,430MJ/h × 2
		温水ボイラー	1,670MJ/h × 3
メインプラント	ターボ冷凍機	17,089MJ/h × 2	
	インバーターターボ冷凍機	17,089MJ/h	
	ヒーティングタワーヒートポンプ	冷却	12,658MJ/h
		加熱	11,520MJ/h
	ヒーティングタワーヒートポンプ	冷却	12,152MJ/h
		加熱	12,240MJ/h
	ヒーティングタワーヒートポンプ	冷却	6,076MJ/h
		加熱	6,120MJ/h
	水熱源ヒートポンプ	(地中熱用)冷却	632MJ/h
		(地中熱用)加熱	800MJ/h
	水蓄熱槽	(冷温水槽)	4,500m ³
		(冷水槽)	2,500m ³
供給開始	サブプラント	平成21(2009)年10月	
	メインプラント	平成24(2012)年1月～春予定	

東京スカイツリー地区熱供給事業概要(平成21年2月17日事業許可・第3期分まで)



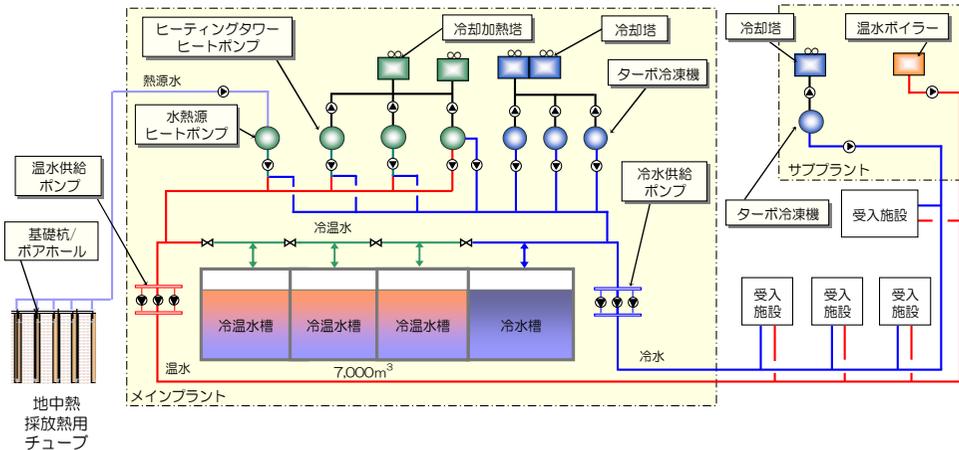
ライティングデザイン

コンセプト

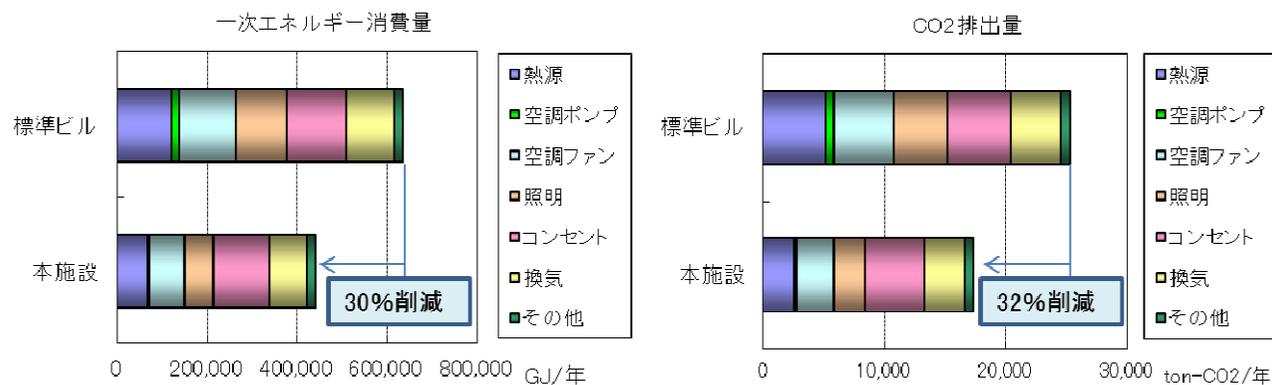
- 下町～東京～日本へ広がる地域性
- 江戸～現代～未来へつながる歴史性
- 地球にやさしく、環境時代にふさわしい象徴性

ライティングデザイン

江戸で育まれてきた心意気の「粋(いき)」と、美意識の「雅(みやび)」という2つの光が1日毎に現れるライティングで、それぞれ「深さ」「優雅さ」を表現しました。また、随所に江戸の原風景を継承するデザインを取り入れ、下町の歴史文化を表します。照らされた部分と陰になる部分が一体となった美しいライトアップにも取り組むとともに、最先端の照明技術を駆使し、美しさと省エネルギーを両立しました。



効果の想定



※ 特に熱源、空調ポンプ・ファン、照明で大幅な削減を図っている。

主な採用手法

区分	標準ビル	本施設
熱源	個別熱源方式	DHC方式
空調	定風量・定水量・温度差5℃	変風量(VAV)・変流量(VWV)・大温度差(10℃)
照明	一般照明、調光制御なし	高効率照明、一部調光制御
換気	制御なし	一部インバータ制御
その他	—	太陽光20kW・BEMS